

# 神田交通ユーバス旅行会特別企画

## 「ロナに負けない!、心に残る旅を!



### With「ロナ期におけるバスツアーア体験

「GOTOトラベル」が盛んになってきました。でも、公共交通機関やバス旅はちょっとね…」と思っている方、来年度の行事をどうしようとお考えの方など、幹事さんや、ご両親への記念のプレゼントにバス旅をお考えの方など、新しい様式でのバス旅行はいかがでしょう。

9月17日(木)、神田交通が行つたバスツアーア体験に参加した記者のレポートです。どうぞ一緒にバス旅を。



大型バスは18名の乗客一人必須で乗り込む都度、入り口でシユツシユと手30分に出発!と、その前に、あらかじめ配られてる健康チェックシートに体温や健康状態を記入し、提出。マスクはもちろん窓側に1名ずつ、ゆったりと座れます。隣人と会話しながら景色を堪能したいけれど、そこはちょっとガマンが必要?



添乗員さんがまず説明。「せっかくのバス旅ですから、お仲間での会話はどうぞ遠慮なく。乗車後、大型バス換気機能テストを停車時の状態と40度走行の状態を比較した実証動画を見せていただきました。密室とい込んでいたバスですが、およそ5分でバス内の換気は「新されることがわかり安心!」

岡方面に進み、三嶋大社を参拝。樹齢1200年の金木犀や重要文化財の総ヶヤキ素木づくりの御殿など、貴重な建物や史跡が残っている神社です。平日ということもあり、人影の少ない神社は落ち着いた雰囲気を醸していました。

バスはさらに2015年世界遺産として登録された伊豆の国市菲山反射炉へ。幕末期の代官江川英龍が手掛け、その子英敏が完成させた溶解炉は、実際に稼働した反射炉として唯一現存するもの。明治の産業革命の大変貴重な遺産です。

△2面に続く

### 体験記

## 「ロナに負けない!、心に残る旅を!

### With「ロナ期におけるバスツアーア体験（1面より続く）

観光ボランティアさんの解説によってこの溶解炉を築いた職人たちの心意気や、コツコツと積み上げ成し遂げた素晴らしい

技術力を知り、感銘を受けました。

反射炉物産館の中にいる「ビヤレストランほむら」で庭園を楽しみながら、ゆつたりと海の幸、山の幸を炭火で焼いて昼食。午後はめんたいパク伊豆→伊豆フルーツ

パークを回り、フルーツに入り、手にしたハサミで高級メロンを各自一つ収穫。食べ頃は1週間後ということで日付を記入し、箱に納めてお持ち帰り。「自分へのご褒美」のお土産がでてきて大満足でした!

最後に小田原鈴廣がまばこで休憩とお買い物で、西湘バイパスを通り帰途へ。17時15分平塚到着。1日かけて伊豆を巡り、帰途へ向かうバス客

たちは皆笑顔で「ありがとうございます」と、さよなら」と。この旅でもつとも安心できたのは、運転手さん、バスガイドさん、添乗員さんの連携のどれたサポート体制が万全だったこと。すぐに質問できるのは何かと便利。添乗員として乗車した原田昌義さんにお話を伺いました。

「もしもこの旅に高齢者が多いとなれば、トイレ休憩を増やし、わざわざ手を上げてトイレと言わなくていいように配慮するのがいいと思います。些細なことでも相談していただけたら喜んでお受けします」と話してくれました。

#### ■神田ソーリスト

☎ 0463(55)1313

\*4面のユーバス旅行会もご覧ください。